

特別進学クラス で学ぶみなさんへ

保善高校の特別進学クラスは「国公立大学や難関私立大学への合格を目指す」クラスです。私たち特進部は、保善高校特別進学クラスに入学するみなさんの全てがこの目標を達成できるように、力を尽くしていきます。

しかし、私たちは、この大学合格の目標を一つの「副産物」としか捉えていません。綺麗事と思う人がいるかもしれませんが、私たちは本気で。

特別進学クラスで本当に目指すもの。それは、「しなやかな知性」と、「豊かな感性」を持った人間になることです。授業を受け、勉強をし、点数を取ればよいという考え方では、これから先の不透明な世界をよりよく生き抜くことはできないでしょう。この世を生き抜く自身の価値を高める必要があります。

「しなやかな知性」。知性の「知」の字は「知る」という訓読みを持っています。しかし、「知る」とは、単に知識を持っていることではありません。まず知識を持っており、次に、その知識を使って考え、問題を解決できることまでを含めたものを「知」と呼ぶのです。さらに、そのようにして解決したこと、自ら導き出した答えが、果たして本当に正しいことだったのだろうかと考え直すことができる謙虚さを持っていること。そのことこそが「知性がある」ということではないでしょうか。そして、その「知性」をどんな場面でも活かせること、それが「しなやかさ」です。黒板の掃除一つにも「知性」を活かせるということが、「しなやかさ」なのです。

「豊かな感性」。どれだけ澄み切った青い空が広がっていても、どれだけおいしい料理が目の前にあっても、どれだけ美しい言葉や音の連なりを耳にしても、それを受け取る目と、耳と、舌と、そしてそれらをつなぐ心、いわゆる感性がなければ、そこには何の化学反応も起きないでしょうし、何も生み出さないことでしょう。私たちは、なるべく美しいものを特別進学クラスの生徒たちに提示したいと思っています。生徒たちには、美しいものが美しいとわかる感性を磨いて欲しいと思っています。特別進学クラスに所属する生徒たちの感性が磨かれれば磨かれるほど、私たちももっと美しいものを皆さんに見せようと努力することでしょう。

扉は開かれました。学校生活の全ての場面を学びの場と捉え、「しなやかな知性」と「豊かな感性」を手に入れる旅に、私たちと一緒に出かけませんか。



特進部長 山田 優

キーワードで見る 特別進学クラス

特別進学クラスでは(知性と感性)の拡充を目指して、学習指導・総合学習・HR活動・進路指導の4分野を特に重要視しています。

学校という場は、机に向かった勉強だけをこなしていくところではありません。日々のHRや学校行事などを通じて「生き方」や「感性」、そして多くの友人・大人たちとの出会いを通じて「協同性」を育てていく場でもあると見え、私たちはHR活動の充実に取り組んでいます。

大学進学は決してゴールではありません。ひとりひとりが歩みたい人生を切り拓いていくためのスタート地点が大学であると私たちは考えています。生徒ひとりひとりのキャリア形成や、大学での学びという広い視野のもとに、私たちは進学・進路の指導を行っています。



現代社会では、知識をただ知っていることよりも、知っている知識をいかに活用するかが問われてきます。私たちは、生徒ひとりひとりが知性を活かすことのできる「しなやかさ」を身につけられるよう、教科指導の枠組みを超えて、未来考動塾の諸活動を展開します。本校の卒業生から、新しい世の中を牽引するにふさわしいリーダーシップを兼ね備えた人材を送り出すことが究極の目標です。

各教科の指導では、難関大学への進学に対応する実力を養成することを目指しています。大学入試では高校で学んだ事柄が総合的に問われるので、特に基礎や基本の徹底を重視しています。また、教科や科目によっては独自教材を使用したり、進度を変えたりするなどの工夫を凝らしています。更に、大学入試だけでなく、大学入学後の学習も見据えて、確かな実力を身につけられるような指導を展開していきます。

総合学習 知識基盤社会を生き抜くために

未来考動塾 *Vivere est cogitare.*

私たちの暮らす現代社会では、知識をただ持っていることよりも、柔軟な思考のもとに、知識を活用していくことが求められています。特別進学クラスでは、こうした「知識基盤社会」の到来に対応した人材を世に送り出すために、「総合的な学習の時間」のなかで、自ら物事を考え、主体的に行動することができるような学習活動を展開していきます。キーワードはVivere est cogitare、すなわち「生きることは考えること」。考え、行動する人材を社会に送り出す場。それが「未来考動塾」です。

未来考動塾では一貫したプログラムのもとに、3年間の高校生活を通して知的生産活動が展開されます。その集大成となるのが3年次に課される卒業論文の執筆です。

1年次 知の技法

ICT機器やメディアリテラシー、協同学習など、知的生産活動の基礎を学びます。

2年次 知の深化

修学旅行で訪れる沖縄を題材に、より高度な知的生産活動に取り組めます。

3年次 知の創造

国際的視野に立った学習とともに卒業研究を進め、卒業論文の執筆に挑みます。



未来考動塾

1年次
知の技法
ロードマップ

2年次	知の深化
3年次1学期	知の創造
3年次2学期	卒業論文



特別進学クラス 卒業生のメッセージ



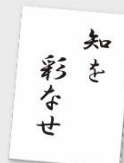
辻 駿
福岡県立筑前第三中学校出身

東京工業大学 第三類 進学

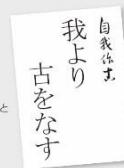
特別進学クラスの最大の良さは他校と比べても校内の他のクラスと比較しても、とても人数が少ないという点にあります。特別進学クラスに所属すると、学校生活のほとんどを小さなコミュニティの中で過ごすことになります。このことには様々なとらえ方があると思いますが、人間が大きく成長する中学校や高校の時期には、たとえ少数であっても、密接な人間関係を築くことが非常に重要な意味を持つということは事実だと思います。また、人数が少ないということは、全員がお互いに認識しあっているということであり、このことがとても居心地の良い環境をつくり出します。さらに、人数が少ないために、先生が一人ひとりの生徒に割く時間が増えます。学習に関する話はもちろんのこと、先生と生徒が個人的な話をすることも珍しくありません。こういったことは昼休みや放課後など、いつでもあります。友人だけでなく、大人と話す機会があるということも高校生にとっては重要だと思います。

特進VISION

特別進学クラスではそれぞれの学年で、ふだんの授業や学校行事など、日常・非日常の別なく高校生活の(よどころ)となる言葉の特進ビジョンとして掲げ、生徒ひとりひとりに進んでほしい道筋を指し示しています。ここでは過去の特進ビジョンの例を紹介します。



知を彩らせ
すべてが(知)で彩られる…
そんな毎日を実現したいという思いを
こめて採用したスローガンです。



自我作古
「宋史」の一節で「われよりいしえをなす」と訓みます。保善の特進の新たな歴史を切り拓いてほしいという担任団の願いを端的に表す言葉です。



Our one's way
3年間を過ぎ進めていって欲しいという願いが込められています。時には力を合わせて、時には一人で、流れを読み、適切な力加減で、必要な時が来たらに、積極的な社会を生き抜く上で必要な力を得られる三年間にしていきたいです。

Disce Gaudere

保善高等学校
特別進学クラス
未来考動塾
Divere est cogitare.

知の技法
知の深化
知の創造

本校のタイトル「DISCE GAUDERE」は「ディス・カウデーレ」と読みます。
ラテン語で「楽しむことを学べ」という意味の言葉です。
(知の世界)を大いに楽しんで、でもらいたいという私たちの思いが込められています。